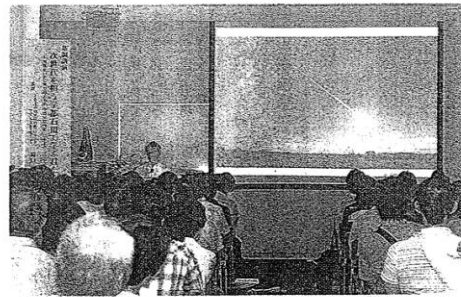


困難克服 技術より根性

金沢「はやぶさ」担当者語る

今年六月に地球に帰る エクトマネジャー、川口淳一郎さんによる講演「はやぶさ」のプロジェクト 演説が四日、金沢市の



「はやぶさ」が帰還するまでについて講演する川口淳一郎さん＝金沢市広坂で

しいのき迎賓館で開かれた。テーマは「次世代を担う学都石川に学ぶ君たちへ―困難をいかに乗り越えるか」。会場に集まった大学生ら約百二十人のほか、小松短大や金城大、金沢工業高等専門学校にも生中継され、約九十人が聴講した。

川口さんは打ち上げから帰還までの七年間を振り返り、「燃料漏れなどのトラブルを乗り越えることができたのは、技術より根性」と強調。二〇〇九年のエンジンの組み替え再起動の時には神社で祈

願した裏話も披露し、「神頼みするのは、最大限努力してきた証し」と話して、笑いを誘っていた。

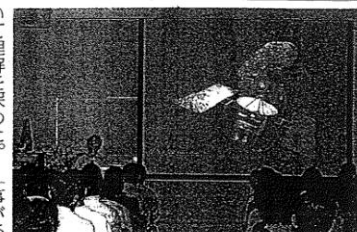
また、会場の学生たちには「高い塔を建ててみなければ、新たな水平線は見えない。果敢に挑戦を」とエールを送った。（酒井ゆり）

北陸中日新聞 H22/9/5 朝刊

「はやぶさ」の事業解説

大学「シン」 金沢で公開シンポジウム

大学「シン」 金沢で公開シンポジウムと県の公開シンポジウム「次世代を担う学都石川で学ぶ君たちへ」は4日、金沢市のしいのき迎賓館で開かれ「はやぶさ」の事業につ



小惑星探査機「はやぶさ」プロジェクトについて理解を深める参加者＝金沢市のしいのき迎賓館

学コンソーシアム石川会長の村信一、金沢市長、谷本正憲知事があいさつした。

今年6月に7年ぶりに地球に帰還した「はやぶさ」のプロジェクトマネジャーを務めた川口氏は、はやぶさの機能や目的を解説。トランプに見舞われながらも、小惑星「イトカワ」のものである可能性がある微粒子を採取した研究者らの技術力の高さや思いなどを解説した。

シンポは文部科学省戦略的大学連携支援事業（戦略GP）の一環で、しいのき迎賓館のオープンと大学コンソーシアム石川が同館に移転したのを記念して開かれた。金沢高専、金城大、小松短大の3サテライト会場にも中継映像が流された。大

北国新聞 H22/9/5 朝刊